

伸びっ子だより

神石高原町立豊松小学校

平成27年 9月17日

9月も半ばを過ぎましたが、例年のような残暑もあまりなく、吹く風にも秋本番を感じるようになりました。そんな中、子どもたちは学習に運動にめあてをしっかりとって取り組んでいます。

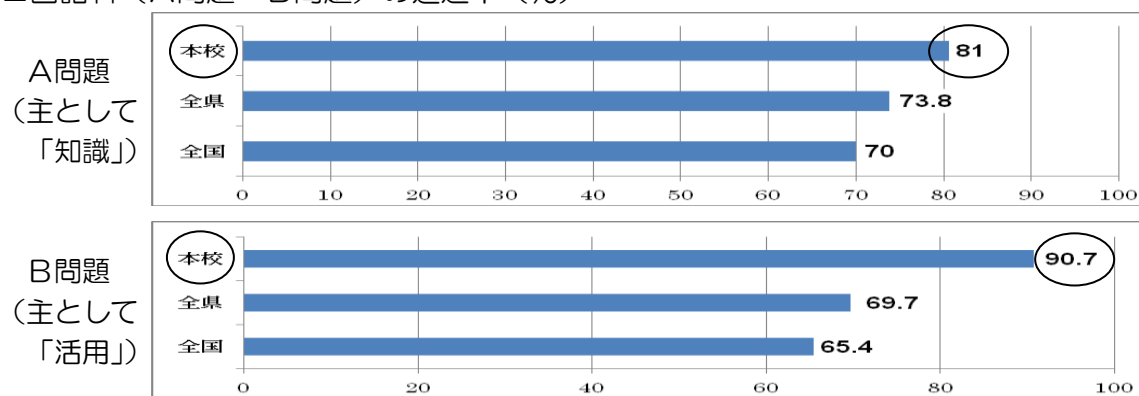
さて、今年度の学力テストの結果が公表されましたので、本校の結果をお知らせします。

今回の結果に基づく課題を整理し、課題克服のための授業改善等取り組みを進めていきます。

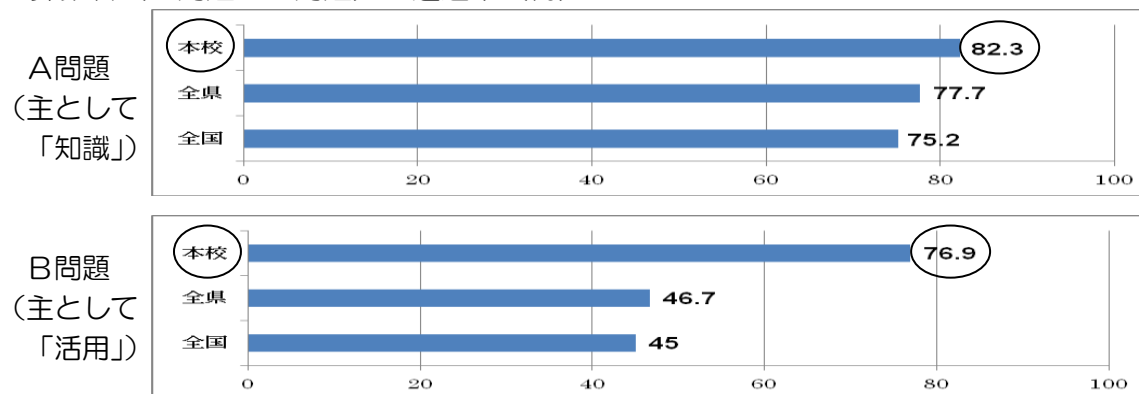


【全国学力・学習状況調査】(対象学年：6年生)

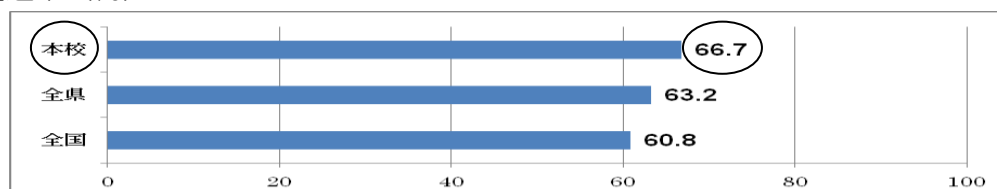
■国語科（A問題・B問題）の通過率（％）



■算数科（A問題・B問題）の通過率（％）



■理科の通過率（％）

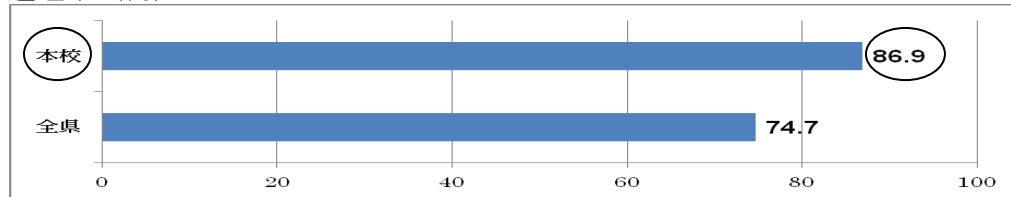


■生活・学習の状況：一部抜粋（児童質問紙による肯定的評価％）

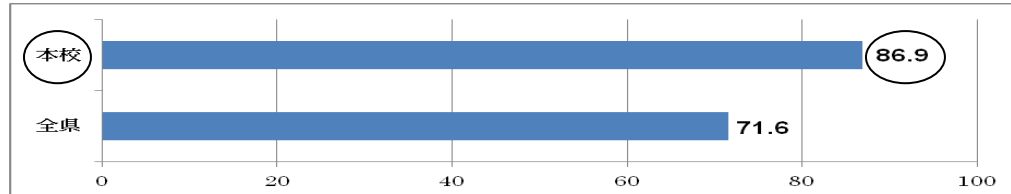
- 将来の夢や目標をもっている・・・・・・・・・・・・・・・・・・100.0%
- 自分には、よいところがあると思う・・・・・・・・・・・・・・・・100.0%
- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある・・・・・・・・83.3%
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している・・・・・・・・66.7%
- 家の人と学校での出来事について話をする・・・・・・・・50.0%

【「基礎・基本」定着状況調査】（対象学年：５年生）

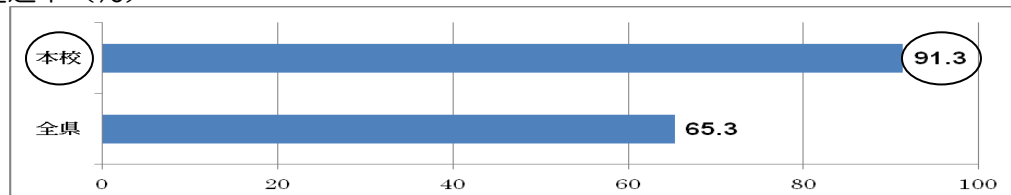
■国語科の通過率（％）



■算数科の通過率（％）



■理科の通過率（％）



■生活・学習の状況：一部抜粋（児童質問紙による肯定的評価％）

- 将来の夢や目標をもっている・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100.0％
- 努力をすれば、自分もたいていのことはできると思う・・・・・・ 87.5％
- 自分にはよいところがある・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87.5％
- 将来の夢や目標はかなうと思う・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75.0％
- 自分のよさは、まわりの人から認められていると思う・・・・・・ 62.5％

【諸調査の結果から】

以上、2つの調査の結果より、国語・算数・理科ともに通過率が県平均以上であり、着実に学力をつけています。特に、身に付けた知識を『活用する力』が向上しているのが分かります。また、児童質問紙による意識調査の結果では、５・６年生ほとんどの児童が「将来の夢や目標をもっている」「自分にはよいところがある」と答えており、自己肯定感が高まっています。

しかし、目標の実現に対しての意識（自己有能感）は個人によって差があり、また、自分についての質問に対する答えから、自己有用感を高めていくことが課題であるととらえています。

【主な改善点の一例】

- ◇国語科→「分かった」「できた」という体験の継続を図るとともに、国語の学習内容が普段の生活に役立つことに気づかせたり体験を通して感じさせたりする。
- ◇算数科→問題解決への過程を説明する機会を多く設定する。また、ペアトークなどを適宜取り入れ、相手の説明を聞き取る姿勢（質問ができる）を身につけさせる。
- ◇理科 →「課題」「予想」「実験方法」「結果」「考察」の流れに加え、矢印等の図を活用して事象のイメージ化を図るノート作りを進める。
- ◇生活・学習 →読書活動の活性化のため、学期ごとの親子読書の取組を充実させ、親子での読書を通じた対話の促進を図る。



★ 学力向上のためには、家庭学習の定着はとても大切です。お家での応援や声かけ等は、子どもたちの大きな力になりますので、これからもよろしくお願いいたします。